

令和5年度 浜松市「青少年の表彰」実施要項

1 趣 旨

さまざまな困難を克服し、自己中心に陥ることなく他者や社会のために地道に努力している青少年、青少年団体（グループ）の諸活動を賞賛し、奨励することで、青少年の健やかな成長に資するため、「青少年の表彰」を実施します。

2 表彰の対象

(1) 対象者

市内に居住する25歳未満の青少年

市内で活動する主に25歳未満の青少年で構成される青少年団体

(2) 対象となる活動

推薦書提出までの間に常時又は定期的に継続して行われた活動、あるいは人命救助等、機に依じてとった行為で、次の区分に該当するもの

ア 奉仕活動

地域・施設・学校・職場などの公共のために、経済的な見返りを求めることなく自発的に行った環境美化、社会福祉、事故防止などの活動

イ 環境改善活動

公衆道徳の普及、公共物や自然・文化財の愛護、生活改善などで実績を挙げた活動

ウ 文化・体育活動

明るいまちづくりや、学校・職場づくりなどに大きく貢献した文化・体育活動、郷土芸能の伝承活動、発表等を通じ地域を活性化する活動

エ 育成指導活動

青少年の育成指導、青少年団体の組織等に特に尽くした活動

オ その他の活動

ア～エにあてはまらないが、この事業の趣旨から見て表彰することが適当な活動

3 表彰の種類

(1) 善行賞

特に顕著な善行のあった青少年（個人または団体）に対して行う

(2) 善行奨励賞

善行のあった青少年（個人または団体）に対して行う

4 推薦手続き

推薦者は、「青少年の表彰」推薦書に必要な事項を正確かつ具体的に御記入していただき、直接又は郵送にて浜松市こども家庭部次世代育成課青少年育成センターへ御提出ください。

※推薦書の様式は、浜松市のホームページからもダウンロードできます。

<https://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp/>

子育て・教育 → 子育て・青少年・若者 → 浜松市青少年育成センター →
浜松市「青少年の表彰」

5 提出先 **浜松市こども家庭部 次世代育成課 青少年育成センター**

〒430-0929 浜松市中区中央一丁目2番1号

イーステージ浜松オフィス棟7階

TEL 053-457-2418

6 推薦締切

令和5年9月13日（水）必着

7 審査並びに表彰

(1) 審査

善行賞及び善行奨励賞を決定します。

(2) 表彰

善行賞受賞者（団体）には表彰式にて市長が表彰状と楯を贈ります。（表彰式は12月頃を予定）

善行奨励賞受賞者（団体）には表彰状を贈ります。

(3) 発表

審査の結果は公表するほか、推薦者・受賞者（団体）の双方に通知します。受賞者が児童・生徒の場合は、所属学校を通して通知します。

8 令和4年度までの推薦・表彰件数（参考）

年度	善行賞 表彰件数				善行奨励賞 表彰件数				推薦件数		
	回	個人	団体	合計	回	個人	団体	合計	個人	団体	合計
S45	1回	5	7	12					5	7	12
S46	2回	3	6	9					3	6	9
H27	46回	8	7	15	15回	2	8	10	10	15	25
H28	47回	7	12	19	16回	12	5	17	19	17	36
H29	48回	6	6	12	17回	17	4	21	23	10	33
H30	49回	9	6	15	18回	6	5	11	15	11	26
R1	50回	10	8	18	19回	10	3	13	20	11	31
R2	51回	6	10	16	20回	9	1	10	15	11	26
R3	52回	10	5	15	21回	6	3	9	16	8	24
R4	53回	18	5	23	22回	33	3	36	51	8	59
合計		322	361	683		214	169	383	606	648	1,254

過去の受賞例

◎奉仕活動

地域・施設・学校・職場など公共のために行った環境美化、社会福祉、事故防止などの活動

- ・図書館ボランティアとして、返却された本の整理などを3年間継続して行っている。(個人)
- ・地域イベントでのボランティア活動を、長年にわたり行っている。(団体)
- ・学校昇降口の清掃を、昼休みや休み時間に毎日自主的に行っている。(個人)
- ・朝のあいさつ運動を毎日欠かさず行っている。(個人)
- ・障がいを持つ方の介助や交流の援助に取り組んでいる。(団体)

◎環境改善活動

公衆道徳の普及、公共物や自然・文化財の愛護、生活改善などで実績をあげた活動

- ・生徒会の常時活動としてアルミ缶の回収・リサイクルを継続して行い、利益のすべてを地域の社会福祉協議会へ寄付している。(団体)
- ・地域住民と協力し、川の清掃や土手の草刈などの環境保護活動を楽しみながら行い、地域の自然と郷土を愛する心を育てている。(団体)

◎文化・体育活動

明るいまちづくりや学校・職場づくりなどに大きく貢献した文化・体育活動、郷土芸能の伝承活動、発表等を通じ地域を活性化する活動

- ・年間にわたり地区敬老会や福祉施設、町民体育大会などで演奏活動を行っている。音楽をとおして地域の人々と交流している。(団体)
- ・美術部員が自らの特技を生かして、地域の壁画や横断幕の制作に取り組むなど、地域づくりに貢献している。(団体)
- ・市指定文化財の遠州大念仏の保存活動に取り組んでいる。大人の中に混じり小学生1人で練習しており、継承者として期待されている。(個人)

◎育成指導活動

青少年の育成指導、青少年団体の組織等に特に尽くした活動

- ・当該団体の会員がイベントのボランティアスタッフとして参加し、野外活動の豊富な経験をいかして参加者の指導・支援を行った。(団体)
- ・青少年団体に所属し、常に会員の模範となってリーダーシップを発揮している。イベントでは企画から運営まで積極的に関わった。(個人)

◎その他の活動

この事業の趣旨から見て、表彰することが適当と思われる活動

- ・下校途中に道に迷っている小学生を見つけ、遠距離にもかかわらず家まで送り届けた。(個人)
- ・ケガをしているお年寄りを見かけ、近くの人に通報した。お年寄りは無事保護され、手当てを受けることができた。(個人)

令和4年度の善行賞受賞者

■善行賞〈個人の部〉 18件

※学年は令和4年度当時

島影 勇吹	(浜松市立河輪小学校・6年)	挨拶運動等のボランティア活動
松村 直輝	(静岡県立浜松北高等学校・1年)	東部協働センターでのボランティア活動
鈴木 香凜	(静岡県立浜松南高等学校・1年)	東部協働センターでのボランティア活動
加納 侑奈	(静岡県立浜松北高等学校・2年)	富塚協働センターでのボランティア活動
高柳 美結	(静岡県立浜松工業高等学校・2年)	富塚協働センターでのボランティア活動
松崎 陽与	(静岡県立浜松工業高等学校・2年)	富塚協働センターでのボランティア活動
河合 月子	(静岡県立浜松工業高等学校・2年)	富塚協働センターでのボランティア活動
荒井 瑞姫	(浜松市立高等学校・2年)	富塚協働センターでのボランティア活動
近藤 寛山	(静岡県立浜松北高等学校・2年)	富塚協働センターでのボランティア活動
松原 史直	(浜松修学舎高等学校・2年)	富塚協働センターでのボランティア活動
西村 嘉真	(静岡県立浜松城北工業高等学校・2年)	富塚協働センターでのボランティア活動
中島 心花	(浜松市立神久呂中学校・1年)	神久呂地区社会福祉協議会運営高齢者カフェでのボランティア活動
辻 琉姫亜	(静岡県立浜松大平台高等学校・2年)	北部協働センターでのボランティア活動
荒川 由宇	(浜松啓陽高等学校・2年)	北部協働センターでのボランティア活動
尾崎 洸太	(静岡県立浜松工業高等学校・3年)	北部協働センターでのボランティア活動
村上 日菜	(静岡県立浜松湖東高等学校・2年)	北部協働センターでのボランティア活動
丸山みこと	(浜松学院高等学校・2年)	北部協働センターでのボランティア活動
山口 大翔	(常葉大学・4年)	スポーツクラブでのボランティア活動

■善行賞〈団体の部〉 5団体

入野地区社会福祉協議会 スマイルボランティア

「誰もが住み慣れた地域で行き来と安心して暮らせる福祉のまちづくり」を目指し、小中学生のボランティアグループとして活動している。

静岡県立浜松南高等学校 自然科学部 生物班

校内活動に加え、ウェルカムクリーン作戦、外来植物駆除活動などの校外ボランティア活動にも積極的に参加し、中田島砂丘の環境保全に大きく貢献している。

聖隷クリストファー大学 2びいす

学生サークルとして活動しているが、社会福祉法人や医療法人等の団体の活動にサークルの枠を超えてボランティア活動を行っている。また、活動の継続から就労支援事業所にも貢献している。

常葉大学 Team I

地域での運動教室や学内行事の企画・運営を通して、地域の活性化を目指してボランティア団体として活動している。子供から高齢者のスポーツと健康づくりに携わり、様々な方と関わることで社会性の向上にもつながっている。

浜松市立中郡小学校 児童かがやき委員会 児童生活委員会

児童生活委員会が中心となり全学級をまわり、挨拶を交わす取組を5年間に渡り継続的に活動している。全校児童がアイデアを出し、児童会が中心となり実践し、全校に活動を広めている姿は他の児童の模範となっており、学校教育目標の具現に貢献している。